

## 北八が岳スノーシューハイキング

北横岳(2472m)縞枯山(2403m)

2016年2月6日～7日

メンバー (8名)清岡・八尾・小林・鈴木・米村・宮本・中川・関本

参考コースタイム:

2/6:木津市役所(5:30)～京奈和/名神/中央～諏訪I/C～北八が岳ロープウエー  
(11:30)～山頂駅(12:30)～北横山岳(14:00/14:20)～縞枯れ山荘  
(16:30)

2/7:山荘(7:30)～縞枯山(8:20)～展望台(8:30/8:40)～分岐(8:55)～  
五辻(9:15)～山頂駅(10:40)

三年連続の北八スノーシューに行って来ました。



寒いのがダメな私なので家でコタツムリを決め込もうと思っていました。

でも日にちが近づくにつれて、仲間の顔が見たくなり～の!小屋で一杯飲みたくなり～の!又自分の年齢も考えるとアルプスを眺めながらスノーシューで雪遊びが出来るのも何時までだろうかと色々考えた挙句に、皆さんに車中窮屈な目にあわすにも係わらずに急きょ参加表明しました。

特に相棒の池田さんとも楽しい二日間

と思っていましたが、

アレレ～!当人、風邪ひきでダウン、残念!残念!(私の突っ込みに誰が相手をしてくれるの!責任者呼んで来～い!(\*\_\*) 池田さん、早く良くなって下さい。

6日は4時起きの始発電車5:17に乗り集合場所へ。小林車に乗り名古屋で鈴木さんをピックアップ、予定通りに奈良北組と恵那SAで合流、走るにつれてお天気は良くなる一方、ピラタスロープウェイ駐車場はアスファルトむき出し状態で、私の長靴姿は「なんじゃこれ!」って感じです。



ロープウェイ山頂駅での食事後北横岳に向かいます。

雪もしまっているのでアイゼン無しで歩き始めます。いよいよ急登前の所でアイゼン装着、北横岳ヒュッテにザックをデポする人、そのまま担ぐ人、それぞれのスタイルで頂上到着、夏に登った蓼科山がほんの目の前です。浅間山も八ヶ岳連峰、南アルプス、中央、御嶽、北アルプスも私達を歓迎してくれている様です。ピークは風はやさしく何時もより写真タイムが長く取れました。

サア～下山！温かい縞枯山荘で一杯飲むことしか、私の頭には有りません！

雪が堅いのでスイスイと小屋に着きました。この日はスノーシューはお荷物と成りました。

小屋に入り荷解きをしますが、明るい雪の世界から電気の無い小屋に突然入ったので暗くて作業が上手くゆきません、落ち着いてから一階のコタツに入りチョビリチョビリとウイスキーのお湯割りで温まり、他のお客さんと冗談話の始まりです。山の技術はいつこうに上がらないのに、お喋りばかりが上向きです。なんで～～！(\*\_\*)



夕食が終わり、することも無いので7時に就寝、これから朝6時まで長い時間を寝ます。これ以上眠ると永眠してしまいそうです。

随分時間がたったと思いましたが9時ごろ「満天の星が出てるよ!」の声に寒がりの私も起きて小屋の外に、アア～綺麗! アア～サム! サイナラ直行お布団へ!



朝が来た!びっくりポンです。マイナス14.7度です。

やっぱり朝の味噌汁が凍って出てきました。ウソです。

テルモス(800cc)に400円のお湯を入れてもらい、縞枯山に向かいます。

昨年下った時に急こう配で苦労したのに不思議とへっちゃらで稜線に登り着きました。

次々に稜線に登り着いたメンバーの感嘆の叫びが聞こえます。  
昨日よりも尚お天気が良くて日本晴れです。  
家でコタツムリしなくて良かった~~~~!

マイナス15度の360度の眺望です。(同じ度ですが何の関係も有りません。ハイ!)  
五辻手前で折角担いできたので雪は堅めですがスノーシュー装着、スノーシュー初体験の中川さんを足跡の無い所を探してはそちらへそちらへと案内します。  
彼女大変ご満悦の様子です。コーヒータイムの時も好きな所をウロウロしていました。私がしたら只のオッサンの徘徊です。  
この辺からは指先も温まりルンルンでロープウェイ駅まで楽しく歩きました。

帰りにカッパの湯に入りました。入湯料400円、メンバー入るなり「安〜う!」  
本当に私も安いな〜と思いました。  
小屋のお湯800ccが400円、湯船の湯の量からしたら、ウン十万円に成るのでは?  
変な計算をする私です。(\*\_\*)

スイスイと高速を走り恵那SAで奈良北組と分かれませんが、そこからの煙を上げる御嶽山の綺麗な事、おまけが付いた様な気がしました。  
天気最高!眺望最高!メンバー良し!(池さん体調悪し!)の二日間でした。 記・関本

